

エコ・リサイクル交流集会 2018 報告

平成 30 年 2 月 17 日（土）大宮ソニックシティ 市民ホール第 2 集会室において、「エコ・リサイクル交流集会 2018」が 42 名の参加を得、開催されました。

石川恵輪会長の主催者挨拶の後、ご来賓の埼玉県環境部資源循環推進課 副課長 小林 優 様、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会 2018 年度 副会長 田辺 直也 様にご祝辞を頂きました。

エコ・リサイクル交流集会 2018

“困った”ごみ出し解決法!

～高齢化・グローバル化・無関心～

基調講演

「ごみ集積所の実情と高齢者支援事業の実態」

蓮田白岡衛生組合 庶務課長 兼 会計室長 黒崎 晃氏

<自分がごみ集積所の立場にたって考えること>

ごみ集積所とは何かを、ごみ集積所の立場になって考えてほしいです。ごみ集積所は、ごみ収集のために一時的にごみを置く場所であり、ごみ捨て場ではないのです。あなたがごみ集積所であったらどう思いますか。水を切らないため重たいごみを出す人、収集日でないのにごみを出す人、まだ食べられるのにごみに出す人などごみ出しのマナーが悪いことが気になるでしょう。ごみを受け取る側になって考えれば、ものが見えてきます。意識を変えてほしいと思います。



（*黒崎様より蓮田白岡でのごみ集積所の現状について、ごみ集積所のタイプ、困惑するケースなどについて写真などを使って詳しい紹介がありました。詳細はホームページをご覧ください。）

<埼玉県は、ごみの有料化率が低い>

ゴミの有料化率が低いことが、ごみ出しのマナーがわるい原因の 1 つと思います。埼玉県のごみの有料化率は、ワースト 3 です。全国で見ると、有料化率の低い順に、岩手県 3.0%、神奈川県 15.2%、埼玉県 15.9%、三重県 27.6%です。人口比の有料化率は、埼玉県は、5.8%でワースト 1 です。埼玉県の 63 市町村のうち、有料制は 10 市町村だけです。もっと自治体が有料化を進めてもよいと思います。

<ごみ出しのマナーが守られない原因と対策>

ごみ出しのマナー、ルールが守られない原因として、ごみの出し方が解らない（外国人など）、事業系ごみをごみ集積所に排出する（集積所は一般家庭ごみ専用であることを知らない、事業者から持ち帰って家庭ごみに混ぜる、通りすがりに捨て去る、庭木の手入れなどの剪定枝・刈り草を出す）、アパートの人はごみ捨て場と勘違いしている、などが挙げられます。

これらのごみ出しのルール違反に対して、警告シール（黄色のステッカー）をごみ袋に貼って出し直してもらい、啓発ポスター（ごみ集積所に「ルールを守って」という張り紙）を貼って注意を促す、アパートなどでは管理会社または管理人へ連絡する、ごみの中身を調べて排出者の特定を行うといった対応をします。

<ごみ分別アプリの紹介>蓮田白岡衛生組合の「ゴミ分別アプリ」は、ごみの収集日のお知らせ、ごみの出し方や出すときの注意点など様々な情報を提供します。平成 28 年 4 月配信開始。ちらしの配布等 PR の結果、平成 30 年 1 月末で 6145 件のダウンロードがあり認知度が高まりました。また「お知らせ機能」でイベントなどの情報発信も行います。雪の日にごみの収集がくるかどうか問合せが多かったので、アプリで、雪の日に収集するかどうか、お知らせしています。

<収集作業へのリスク>1 日に 3300 箇所のごみ集積所を 20 台のごみ収集車で廻りますのでごみの収集に効率性が求められています。しかし集積所が乱雑、道路工事でごみを取りに行けない、天候が悪い（台風や雪の日も休めない）、などの収集作業のリスクがあります。

<ゴミ出し困惑の要因は？>自治体ごとに異なる分別：行政がどこを優先するかにより全国の自治体で分別の方法が少しずつ違っている。ごみ収集時に分別すると車両を変える必要があり、分別の品目を増やせばそれだけ手間がかかる。一方、ごみ収集時は分別せず、処理（焼却）後に分別する場合もある。焼却炉の形式が流動床では、ふるいにかけて分別するので問題はない。また、生ごみだけを集めている自治体もあるが、手間もコストもかかる。複合的な品物、たとえば金具のついたものは、不燃物か、燃えるごみか、判断に迷うが、蓮田白岡では燃えないごみにして残渣として埋め立てしている。

高齢者支援事業の実態

<ふれあい収集について>高齢又は障害等により家庭から排出するごみを自ら出すことが困難な人に対し、戸別にごみを収集する業務です。65 歳以上の一人暮らしの者、障害者のみで構成されている世帯、要介護認定を受けた者で構成されている世帯を対象とします。申請に基づき職員が訪問し利用の可否を決定します。ごみの排出は、分別方法に従い、指定された曜日に自宅玄関前等に排出してもらいます。分別品目を一括して週一回収集します。ごみが出ていない時は声掛けし、応答がないときは、緊急連絡先に連絡し安否確認をします。平成 24 年からふれあい収集を開始。初年度は 32 件でしたが平成 29 年 12 月末には 106 件まで増加しています。今後も利用者の増加が見込まれます。

市の福祉サイドと包括支援事業との連携、勝手に敷地に入るので委託業務に適さないこと、個人情報に関する内容（緊急連絡の電話番号、利用者の病状の記録）の取り扱いが難しいといった問題点等があります。また、毎週火曜・木曜に各世帯週一回の収集：収集車両 1 台、2 名で、1 日 50 件を廻りますが、一日で作業が終了できない日もあります。通常の収集と異なり、声かけをして連絡がつかない場合など対応に時間がかかり業務の負担増があります。今後、作業人員の増員及び収集車両の増台、分別不良への対策等が課題です。

報告：瀬田 恵之

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第 2 水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

各地の現実と課題

1. 「市民・団体の活動事例から解決方法を探る」

★高齢者問題、私たちはいつまで正しく分別ができるのかしら？」

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会理事 大前 万寿美

エコ・リサでは長年、分別を徹底し焼却場をなくしていこうと活動を続けて来たが、高齢社会の現状をみると、認知症や体力低下により、分別ができないだけでなく、ごみ出しそのものが困難になってきている事例が多くなってきている。

ごみ屋敷化の進行：ごみの収集ルールがわからなくなる。資源として適切に保管することが難しい。購入した品物の記憶がなく、保管した場所も忘れてしまうため同じものを何度も購入し、ごみになるものをどんどん増やしてしまう。積まれたごみは不衛生、歩行に邪魔で危険。不審火の元になり、ご近所迷惑。

市町村によって、ふれあい収集の対象となる条件の厳しさが異なるため、家族の対応として、生ごみのみ冷凍保存をヘルパーさんをお願いするけれど、生ごみと燃やすごみの分別が介護現場では甘いことも。

終活は早めに、60歳代から始めましょう

2階を物置にしない！余分な収納スペースを減らすために、できれば平屋に改築を。人の気配がない2階は小動物の住処になる危険が。思い出の品は写真に収めてから思い切って処分する。



人生最後の片づけは、絶対に自分自身ではできないことを肝に銘じましょう。

(大前 万寿美 記)

★新狭山ハイツの取り組みと狭山市の取り組み

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会理事 土淵 昭

新狭山ハイツは770戸5階建てのマンションで、エレベーターなし、ご多分に漏れず高齢化が進み、ごみ出しや買い物に困っている方も少しずつ増えてきた。自治会や管理組合もそれなりに機能していますが、役員が数年で交代するため、継続性を保持するために2003年に「NPO 法人グリーンオフィスさやま」を立ち上げ、自治会や管理組合が出来ないことを進めている。

この組織には緑化推進本部、パソコン教室、編集工房、助け合いの輪、など15の担い手組織があり、その中の「助け合いの輪」の活動では、ごみ出し支援、買い物支援、専用庭の草取り、天井部分の電球の交換等、高齢者等で困っている方の支援を有料で行っている。ごみ出し支援は現在のところ5階に住んでいる高齢者の方で要望があれば玄関ドアの前に出されたごみを1回50円でごみステーションに運んでいる。

〈狭山市の高齢者等のごみ出し支援〉 高齢者及び障害者世帯のごみ出しに対する困難を解消するため、平成17年6月に「狭山市家庭ごみ戸別収集」制度を定め、家庭ごみを戸別収集し、併せて安否の確認を行っている。登録世帯136世帯(平成29年10月現在) **〈外国人への対応〉**「狭山市生活ごみの分け方・出し方」の外国語版(5か国:英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語)を作成。 **〈アパート等のごみ出しについて〉** 苦情があった場合、管理会社もしくはオーナーを通じて、入居者へのごみ出しルールの周知・指導、集積所の清掃管理をお願いしている。

(土淵 昭 記)

創設
昭和3年 **珍来**

www.chinrai.co.jp

2、「さいたま市の廃棄物処理の現状と取組」さいたま市環境局 資源循環推進部

資源循環政策課課長補佐 兼 政策推進係長 三角 直史氏

平成27年に建設費290億円をかけごみ処理施設以外に環境啓発施設や余熱体験施設を併設した桜環境センターを設置しました。

ごみ減量施策の取組

①小型家電リサイクル事業：新しい製品の材料として再生利用につなげる事と、もえないごみの減量でごみ処理経費の削減を。②ごみ分別アプリの配信：ダウンロード目標数は5万件（世帯数比10%）。1800品目を分別辞典に掲載しており、特に収集日を事前にお知らせする「アラート機能」は出し忘れ防止に役立つと好評。外国語版（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語）も配信。③雑紙等の分別啓発：もえるごみの中に含まれる紙類は14.9%（推計）にもものぼり、資源ごみにまわす事で約3万トンの削減となり、処理経費約14億円の削減効果を期待。④生ごみの水切り推進：生ごみの約80%は水分であり、ゴミ出し前の水切りを啓発チラシや生ごみ水切りネットの配布などで推進しています。

第4次一般廃棄物処理基本計画のあらたなごみ減量施策概要

市内最終処分場の残余余量、埋立率がうらわフェニックス78%、環境広場91%とこのまま推移するとあと20年で満杯に。平成28年の組成分析調査の結果、家庭から排出された「もえるごみ」の中に資源物が20%含まれ約44,000トンのごみ処理経費に換算すると約18億4千万円に相当する資源ごみが混入しており、排出時の分別の更なる徹底が求められていきます。各減量施策の実施で約3万トンのごみ減量を目指し、特に食品ロスに着目していく予定。

家庭から排出される「ごみ」の現状と課題

さいたま市で65歳以上の人口が2045年には39.5万人とピークを迎えると予測。高齢社会の進行に伴い、自らごみを出すことができない高齢者が年々増加傾向にあり、今後も増加していくことが想定され、また、日本語のわからない外国人による分別排出が徹底されていないのではないかというご意見が、自治会等から寄せられることがあります。

高齢者、障がいを持った方への対応策として、さいたま市では、一人暮らしの高齢者や障がい者等で、自らごみを収集所に出すことができない方の自宅に市の職員（直営職員）が訪問し、玄関先などからごみを収集する「ふれあい収集」を実施しています。対象者としての条件は、一人暮らしの高齢者（65歳以上）、一人暮らしの障がい者、同居する家族がいる高齢者又は障がい者で同居者が、高齢者、障がい者等で収集所にごみを出すことができないケース。ふれあい収集の件数は年々増加しており、今後さらに増加した場合の対応策が課題と考えられます。しかしながら、高齢者・障がい者の見守りの観点から、直営職員により回収を実施してまいりたいと考えております。

外国人の方への対応策については、平成29年の外国人の人口は21,517人と総人口の1.6%を占めるようになっており、転入時に区民課で「外国語版家庭ごみの出し方マニュアル」の冊子を配布するとともに、平成28年に配信を開始した「外国語版ごみ分別アプリ」のチラシを配布し利用を促すなど、多言語対応により分別ルールや正しい出し方の周知啓発を促進しています。（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語に対応）平成29年8月から10月までの2ヶ月で353件のダウンロード数となっています。 報告：齊藤 勉（理事）



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも
さいたま営業所 ☎048-640-4343 FAX048-644-7674

3. 「バリアフリーからユニバーサルデザインへのシフト」～やさしさ溢れる街づくり～

特定非営利活動法人 SETAGAYA21 代表 古谷 真一郎氏

*バリアフリーとユニバーサルデザイン

バリアフリーは障がい者や高齢者を対象にしており、ユニバーサルデザインは全ての人を対象にしている。バリアフリーは法律等で規制する行政主導型であるのに対し、ユニバーサルデザインは良いものを褒めたたえ推奨する民間主導型である。

*ユニバーサルデザインの7原則

- 1) 誰であろうと公平に使えること
- 2) 使う上での自由度が高いこと
- 3) 使い方が簡単でわかりやすいこと
- 4) 必要な情報がすぐに理解できること
- 5) うっかりミスができる限り危険につながらないこと
- 6) 身体への過度な負担を必要とせず少ない力でも使えること
- 7) 使いやすい十分な大きさと空間が確保されていること

*メディア・ユニバーサル・デザイン

NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会は、「デザイン」・「文字の使い方」・「色の使い方」を工夫し、高齢者・障がい者・色覚障がい者の人たちが、使いやすく見やすいメディア・ユニバーサル・デザインの普及に取り組んでいる。

*メディア・ユニバーサル・デザインの5原則

- 1) アクセシビリティ accessibility
見えない・読めないなど、情報の入手を妨げる要因を取り除く工夫が必要
- 2) ユーザビリティ usability: より快適・便利に使える、使いやすさの工夫が必要
- 3) リテラシー literacy: 内容がより理解しやすい表現や構成による工夫が必要
- 4) デザイン design: 情報に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫が必要
- 5) サステナビリティ sustainability
実現するのに過大なコスト負担がなく、環境へも優しいものであることが必要

*自助・共助・公助

自助、共助、公助の用語を用い、ごみ問題について、個人が取り組む自助、仲間や地域が取り組む共助、行政が取り組む公助、の各役割を分かりやすく解説した。

*世の中を変える個人の意識改革と社会のシステム改革

ごみの分別方法が分かりづらいという多くの指摘を踏まえ、ユニバーサルデザインの考えを基にして、分かりやすいごみの分別方法に変える選択肢があることを指摘した。

世の中を変えるには、2つのポイントが必要である。一つ目のポイントは、個人の意識改革である。市民にとってごみの分別が難しく、きちんと分別できないならば、企業が全ての商品に分かりやすい分別マークを付ける。そして、市民は商品に付いている分別マークに基づいて分別する。これが共助に基づく意識改革



街を遊ぶ！食べる！極める！

www.townnavi.info/saitama

である。二つ目のポイントは、社会のシステム改革である。例えば、わが国では稀な事例であるが、青年会議所は選挙の際に立候補者を招いて公開討論会を開催している。このように青年会議所は、見比べることができる世の中を目指して、一生懸命取り組んでいる。

世の中を変えるには、個人の意識改革と社会のシステム改革の両方が必要になる。この視点に立ち、仲間や地域と共有して声を上げることが、世の中を変える第一歩となる。方向は一つ、方法は無限にある。無限にある方法を、地域の実情に合わせて考えることが重要であるとして、講演を終えた。

*講演を終えて

わが国は近い将来、一人の高齢者を一人の若い人が支える肩車型の高齢化社会に直面すると予測されており、バリアフリーからユニバーサルデザインへのシフトを加速させる必要性がよく理解できた講演であった。

ごみの分別についても、分かりやすい分別方法を導入する理由が理解でき、個人の意識改革と社会のシステム改革による新しい視点に立ち、分かりづらいごみ分別方法を、分かりやすいごみ分別方法に改める選択肢の存在に、気づくことができた講演であった。

報告：長谷川 三雄

質疑応答（一部）

Q, 家庭から排出された「燃えるごみの現状」について組成データの水分量を教えてください。

A, 数字を持ってきていませんが、食品の水分量は 80% です。

- | | | | | | |
|-------------|-------|-------|------|-------|---------|
| ・西部環境センター | 水分 | 49.8% | 可燃分 | | |
| | 44.9% | 灰分 | 5.3% | | |
| ・東部環境センター | 水分 | 43.3% | 可燃分 | 50.1% | 灰分 6.6% |
| ・クリーンセンター大崎 | 水分 | 37.8% | 可燃分 | 54.9% | 灰分 7.3% |
| ・桜環境センター | 水分 | 36.3% | 可燃分 | 54.4% | 灰分 9.3% |

Q 容リ法が施行されて 20 年になりますが、自分自身が高齢になったこともあり、もう少し分別を少なくしたほうが良いのでは？今後の動きを知りたいです。

A, 個人的には法律で縛りすぎている感があります。過度にというか、そこまで？という法律はあるように思います。昭和の時代は瓶を 10 円で回収するしくみもありました。縛っている割に無駄が増える、例えば食品廃棄が増えることにつながっているのでは？というような賞味期限の問題があります。市民が声をあげていくことが大事です。



一般社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>



ゴトーグループ

快適な環境づくりのお手伝い。

村岡営業本部 ☎048-537-0555

ゴトーグループ

検索

<http://www.510goto.co.jp>

外食産業における「食べ残し」削減について

1 食品ロス発生状況

日本で1年間に発生する食品ロスは約621万トン(平成26年度推計値)で、そのうち約5分の1(約120万トン)は外食産業から発生しています。この外食産業の食品ロスのうち「食べ残し」は特に宴会等で多く発生しており、宴会で提供される料理(飲料類を除く)の約18.9%を占めています。

2 国の取組

昨年5月に、消費者庁、農林水産省、環境省及び厚生労働省の連名により「飲食店等における”食べ残し”対策に取り組むに当たっての留意事項」が通知されました。その中では、小盛りメニューの選択や宴会等における幹事の呼び掛け等による「食べきり」に加え、自己責任を前提とした「食べ残しの持ち帰り」についての留意事項が示されています。

※飲食店等における「食べ残し」対策に取り組むに当たっての留意事項(平成29年5月16日)

アドレス：<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/170516.html>

3 県の取組

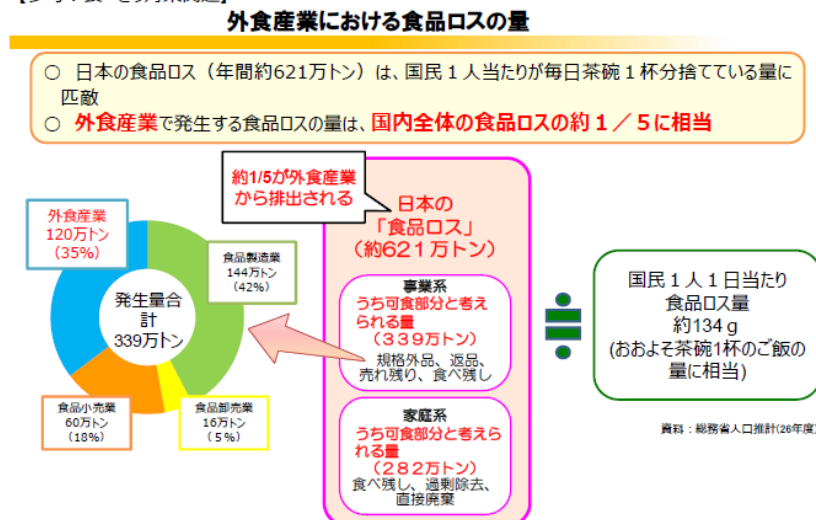
県では、平成26年9月から「食べきり SaiTaMa 大作戦」を展開し、宴会等の料理をお開き前の15分で味わって食べきる“食べきりタイム”を提案してきました。また、小盛りメニューの設定や食べきりの呼び掛けなどによって食品ロスの削減に取り組んでいる飲食店を「彩の国エコぐるめ協力店」として登録し、飲食店における食品ロス削減の普及を図っています。

4 一人ひとりにできること

兵庫県のあるスーパーマーケットは、ホームページで食品ロスの削減について問題提起をしました。その中では、「この取組は小売だけでは絶対に実現できない。消費者の皆様の理解があってはじめて成り立つ。」と訴えています。

食べ残しの削減には、食品の消費者である私たち一人ひとりが、いみじくもノーベル平和賞受賞者のワングリ・マータイさんが提唱したように、「もったいない」という言葉で表現される自然やものを大切に尊ぶ感覚をもう一度呼び覚まし、出てきた料理をおいしく食べることが大切ではないでしょうか。

【参考：食べきり対策関連】



(出典：農林水産省ホームページ)

エコ・リサ環境学習会「人工香料から身を守ろう」報告

2018年1月27日吉川市市民交流センターおあしすにて、会員でもある田中輝子さんによる学習会を開催しました。数年前から香りの強い柔軟剤ブームに伴い、香りがきっかけで化学物質過敏症（CS）を発症したり、重症化したり、健康被害が相次いでいます。「香害」という言葉も生まれ、少しずつ問題が表面化してきましたが、まだまだ理解が進まない状況の中、現状と課題を学ぶために当学習会を企画しました。36名の参加者は衝撃を受けながらも、熱心に耳を傾けていました。

田中さんは、埼玉エコ・リサイクル連絡会だけでなく、日本消費者連盟などで活動していて、今回は昨年夏に行われた「香害110番」の内容を中心に話されました。今、問題になっている柔軟剤の成分は陽イオン界面活性剤で、毒性の強いものです。その他消臭剤スプレー、芳香剤、制汗剤などの香料で化学物質過敏症になっている人が増えて、人口の約1%、100万人を超えと言われています。その症状は様々で、病気の診断ができる病院も限られているため、非常に困難を極めています。症状が強くなると外出もできず、仕事を辞めざるを得ない人もいて、貧困に陥っている可能性があります。香料は直接脳に行くので、親が使用する柔軟剤や芳香剤で、子どもの脳に与える悪影響が危惧されます。石けんで洗濯すれば洗い上がりが柔らかかに仕上がるので、柔軟剤は「ニオイ」も「中身」も必要ないものです。CMに踊らされることなく、余計なものを買わない、使わない、の真のグリーンコンシューマーになりましょう、との結論でした。

報告：岩田 京子



第14期通常社員総会開催案内

日時：平成30年5月17日(木)午後1時～
会場：武蔵浦和コミュニティセンター 第7集会室
記念講演テーマ「食品ロスを減らそう」
講師：埼玉県環境部資源循環推進課
主査 沖中利章さん

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記：2018エコ・リサ交流集会“困った”ごみ出し解決法！のご報告です。ごみの分別はこれからの大きな問題です。無関心ではられません。

通信では載せきれなかった全文については、ぜひホームページをご覧ください。轟 涼